



とねいこ

カ合小学校だより
令和元年7月19日
児童数：548名
文責：校長 乙丸孝嗣

多くの経験ができる夏休みに

いよいよ明日から夏休み。今年は、いつもより1週

間短い夏休みですが、それでも1カ月以上もある休みです。一人一人の子どもたちが成長する夏休みにしたいものです。そこで、終業式では、ひまわりの花を題材にした話をしました。(要約)——大きく成長するひまわりも小さい鉢に植えるとそれなりの大きさにしか成長しません。人間にとってその鉢に相当するものは『経験』です。人として大きく成長するためには、たくさんの経験をして大きな鉢を作らねばなりません。夏休みは、日頃できないたくさんの経験ができるまたとない休みです。思いっきり本を読む・日頃できない手伝いをたくさんする・調べたいことを徹底的に調査しまとめる・おうちの人とたくさん話す・苦手な教科を時間をかけて復習する等、夏休みならではの経験をたくさん積んで下さい。——子ども達が多く経験ができるように、ご家庭においてもサポートしていただければ幸いです。そして、一人一人が成長の土台となる鉢を少しでも大きくできる夏休みになりますことを心から願っております。



スマホ・SNSの適切な利用について

8日(月)、市教委指導主事：田中先生をお招きし、6年生を対象に表題について講話をいただきました。スマホは安全に正しく使えば便利でとても役に立つものですが、一歩間違った使い方をすれば、いじめに繋がったり犯罪に巻き込まれたりします。そこで、田中先生は偽メールを見せ返信するべきかどうかを考えさせると共に、実際にあったラインによるいじめや犯罪に巻き込まれた事案を被害にあった子どもの心情に寄り添いながら話を進められました。午後の暑い時間帯でしたが、子ども達は真剣な眼差しで聞いており、夏休みに入る前のこの時期に講話を聞いたことは本当によかったと思いました。小学生もスマホ



を使う機会は増えてきています。賢く安全に使える子ども達に成長できるよう、このような学習機会を増やしていこうと思います。



昼休みコンサート



11日(木)の昼休み、音楽室で希望者による発表と器楽部の演奏がありました。希望者は3年生・5年生・6年生の5組が少人数のグループで出演し、リコーダー・合唱・合奏を披露しました。みんな、希望で出演しているので、やる気満々。練習もかなり積んだのだろうと想像できるとても上手な出来栄でした。最後に器楽部が演奏する「小さな恋のうた」の曲に合わせて会場のみんが歌い、心に残るコンサートとなりました。会場は下の写真のように音楽室に入りきれないほど集まり、とても盛り上がりました。次回が待ち遠しくなりました。



給食費の公会計化



一昨日お配りしました『学校給食についての大切なお知らせ』に書いてありました通り、給食費は、これまでお子様を通して現金で学校に納入いただいておりますが、**来年度から**口座振替で熊本市に納入することになります。その詳しい説明書及び申込書が、2学期はじめ（8月下旬）に全家庭に学校を通して配布されます。

8月13日(火)～16日(金)は閉庁日

7月1日に配布しました市教育長からの文書に記載してありました通り、今年度は上記の期間、本校は閉庁日となります。もし、この4日間で緊急に学校に連絡しなくてはならないことが生じましたら、市教委教育政策課にお電話下さい。電話番号は 096-328-2704 です。 (8時半～17時)

盛り上がったクラス対抗ミニバレーボール大会

7日（日）標記の大会が体育館で開催され、午前の部は3年3組が、午後の部は6年1組が見事優勝しました。おめでとうございます。噂で力合小のミニバレーボール大会は『半端ない』盛り上がりを見せると聞いておりましたが、まさにその通りでした。その盛り上がりの中で、保護者同士の、そして保護者と教職員との親睦が図られたことはとてもよかったと思います。この機会を用意された保体委員会の皆様に心より感謝申し上げます。



災害対応型自動販売機が設置されます

3年前に起こった熊本地震のような大規模災害時、避難された方に飲み物を提供できるように体育館の玄関に左の写真のような自動販売機が設置されます。（大規模災害時は無料で提供。7/3のような自主避難の場合は有料とのことです。）日常は、タイマーがかけられ昼間は利用できませんが、夜間は体育館や運動場で社会体育を楽しまれる方々が購入できるようになります。設置予定は、8月中です。設置場所は、体育館の玄関になります。

子どもを成長させるお手伝い

冒頭を書きましたが、夏休みには子ども達がたくさんのお手伝いを頑張ってくれることを願っていますが、そのお手伝い、家族の人を助けるためだけでなく、実は子ども自身のためにもなるのです。学習指導要領では子ども達に『生きる力』を付けることが謳われていますが、まさにお手伝いは将来社会に出たときに必ず役に立ち『生きる力』に繋がるのです。お手伝いは『**子どもの自立を助けます**』。服のたたみ方・食事の準備や後片付け・料理・掃除など大人になってしなくてはならない生活スキルを身に付けることになります。特に高学年の子ども達には料理の手伝いを是非経験してもらいたいものです。料理をすることで好き嫌いが少なくなったという調査結果もあります。また『**自己肯定感が高まります**』。毎日役割を持ち、やり続けることで達成感を味わい自分に自信を持つようになります。ほかにも多くのことを成長させるお手伝いですが、意欲を持って続けさせるためには保護者の皆様からの『褒める』言葉がとても大切になります。「有難う」「助かったよ」とその都度、声を掛けて頂ければ、家族のためになっているという自己有用感も高まり、やる気は倍増すると確信します。よろしくお願ひします。

